

213デリックを起因物とする死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2014	11	14～15	送電鉄塔建替工事にて、デリック工法によるカニクレーン解体後、デリックの解体に着手。マストブームを撤去後、仮支線を取り付けてマスト上部で本支線の撤去とマスト解体準備中、マスト上部で作業していた被災者が移動した際、仮支線の方向が均等でなかったため、マストのバランスが崩れ、被災者と共に倒壊。被災者の脚部がマストの下敷きとなり負傷した。	25	1	30301	30～49
2	2010	11	20～21	A区B町のC交差点において、取引先との打ち合わせからバイクにて自宅へ直帰をするための運転中、右折してきた自動車と衝突し、右腕を骨折した。	41	17	11209	1～9
3	2007	6	15～16	配達途中の三叉路において、バイクに乗車した職員が、直進しようとしたところ、進行方向左側から右折してきた相手方乗用車と衝突し、職員は、衝突のはずみで転倒し、負傷した。	26	17	110101	500～999
4	2006	3	14～15	本船のハッチで鋼材の積込作業中、本船揚貨装置のカーゴワイヤーによりが入ったためにウインチドラムのカーゴワイヤーがたるみ巻き下げができなくなったので、被災者がカーゴワイヤーのたるみを直そうと近づいた時、よりがもどりはじめたことで急にカーゴワイヤーが動きだし、たるんでいたカーゴワイヤーが張ったために被災者の足にあたり負傷した。	30	6	50202	100～299
5	2006	3	16	配達中、バイクの後輪が轍に取られ、滑って転倒しそうになり転倒を防ごうとした際、左足が別の轍にひっかかり転倒して負傷した。	48	2	110101	300～

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。